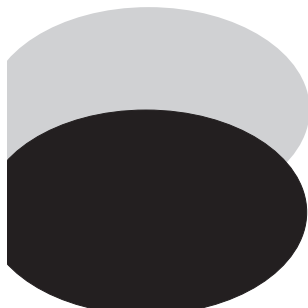


20191130

絵本学会 NEWS No.65

発行：絵本学会
発行日：2019年11月30日
編集：絵本学会広報委員会
絵本学会事務局：〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5
刈谷市美術館内 絵本学会事務局
E-mail office@ehongakkai.com
http://www.ehongakkai.com



絵本学会

第23回絵本学会大会のお知らせ
絵本セミナー報告
研究助成についての報告
企画委員会からのお知らせ
絵本学会 Who's who
新入会員紹介
理事会議事録

■ 第23回 絵本学会大会（2020年度）のお知らせ ■

第23回絵本学会大会は2020年6月6日（土）、7日（日）に熊本県阿蘇郡高森町で開催されることになりました。
研究発表、作品発表を希望される会員は、以下の要項を参照してお申し込みください。

第23回 絵本学会大会 研究発表募集要項

1. 発表者の資格（応募資格）
絵本学会の会員で、2019年度までの会費を納入済みであること。
新規入会者の場合は、2020年1月21日（火）の時点で入会手続きが完了していること。
2. 発表テーマ
絵本及び絵本に関連する研究テーマで未発表のもの。
3. 発表時間
発表 20分間 質疑応答 10分間
4. 申し込み要領
①発表テーマ、②発表者の氏名・住所・電話番号/FAX番号・メールアドレス、
③所属機関名・職業など、④発表要旨（800字程度/大会プログラム用原稿）、
⑤発表時に使用する機材（パソコン、PCプロジェクター、書画カメラ等）
以上の①～⑤について、文書化したものを絵本学会事務局宛に郵送
またはメールでお届けください。
5. 申し込み期間
2020年2月1日（土）～2月23日（日）〔期間内に必着〕
6. 発表者の決定
研究発表は、発表申込者多数の場合、発表要旨に基づいて審査する場合があります。発表順・時間等は、3月22日（日）までにお知らせします。
* 受理した原稿等は返却しませんので、必ず控えをとってください。

第23回 絵本学会大会 作品発表募集要項

- 大会会場に会員の作品を展示し、会期中の所定の時間（大会2日目に実施予定）に出品者自らが制作趣旨を口頭で発表していただくことを条件とします。
1. 発表者の資格（応募資格）
研究発表と同じ
 2. 発表作品
未発表の絵本（個人制作、共同制作とも可）
 3. 発表形態
判型・サイズ・ページ数などは自由。原画を原寸でカラーコピーしたシートの全画面と、カラーコピーなどで製本したものを1冊出品すること。
 4. 申し込み要領
①作品タイトル、②発表者の氏名・住所・電話番号/FAX番号・メールアドレス、
③所属機関名・職業など、④原画サイズ・枚数、⑤作品紹介原稿（200字程度）
以上の①～⑤について、文書化したものを絵本学会事務局宛に郵送
またはメールでお届けください。
 5. 申し込み期間
2020年2月1日（土）～2月23日（日）〔期間内に必着〕
 6. 発表者の決定
作品発表は、発表申込者多数の場合、作品紹介要旨に基づいて審査する場合があります。作品搬入の期日・方法、発表順・時間等については、3月22日（日）までにお知らせします。これらの詳細は第23回絵本学会大会実行委員会より連絡します。

【研究発表・作品発表の申し込み】

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5 刈谷市美術館内 絵本学会事務局
FAX:0566-26-0511 E-mail:office@ehongakkai.com

* 発表内容と当日の記録写真は、絵本学会NEWSおよびホームページを通じて公開されることがありますのでご了承ください。

2019年度 絵本セミナー報告

「国際講演会 韓国の絵本作家 パク ジョンチェの絵本を語る」

今年度の絵本学会・研究委員会のセミナーとして「国際講演会 韓国の絵本作家 パク ジョンチェの絵本を語る」を以下のとおり実施しました。前半は日本で『ヒキガエルがいく』(岩波書店 2019年6月)が出版されたばかりのパク ジョンチェさんが自作について語り、後半は、パクさんに加えて訳者の申明浩さん、広松由希子さんの3人の鼎談が行われました。パクさんの太鼓の音による自作絵本の読み聞かせやエネルギーな講演は、参加者に新鮮な驚きと感動を与え、鼎談や質疑では活発な意見の交換が行われました。

開催日時：2019年7月20日(土) 13:00～16:00

場 所：大阪府立中央図書館 大会議室

講 師：パク ジョンチェさん、申明浩さん(兼通訳)、広松由希子さん

会 費：1,000円

共 催：一般財団法人大阪国際児童文学振興財団

参加人数：74名(内絵本学会会員：15名)

1. 講演「パク ジョンチェ 自作を語る」

まず、講演の冒頭で、韓国の太鼓を打ちながら『ヒキガエルがいく』の画像を見せるパフォーマンスがあった。



*右からパク ジョンチェさん、申明浩さん(通訳)

続いて、スライドを見せながら、子どもの頃からマンガを描くことが好きで、大学でキャラクターデザインを学びながらも絵画に惹かれていたこと、大学卒業後、デザイン会社に勤めるも絵を描きたいと思って会社を辞めたこと、韓国で出版された村上春樹の本の表紙や絵本の挿絵を描いていたが、絵も文も自分で創作したいと絵本を描くことにしたこと、自伝的作品『ぼくのパンツ』でデビューし、大韓民国文化体育観光部の優秀教養図書に選ばれたことなどが語られた。

続いて、『ヒキガエルがいく』が出版された背景と経緯について詳しく語られた。きっかけは、2014年4月16日、珍島(ジンド)付近の海で大型旅客船歳月(セウォル)号が沈没した事件であり、事件の解明がなされないことに抗議した集會に参加しながらも、その声がなかなか届けられないことから、絵本によって事件の解明を訴えるという気持ちで『ヒキガエルがいく』は作られた。最初は文章があったが、出版社から文字なし絵本がいいのではないかと打診され、納得いかないまま悩んでいたが、最終的に太鼓の音だけを文字として入れることになった等、パクさんの絵本に対する熱い思いが感じられる講演だった。

2. 鼎談「パク ジョンチェ作『ヒキガエルがいく』を語る」

鼎談では、訳者の一人である広松さんが『ヒキガエルがいく』に出会った経緯、その本が日本で翻訳されるにあたって表紙が変更されたこと、広松さんと申さんがハングルの太鼓の音をタイポグラフィも含めていかに日本語版で「翻訳」できるかを試行錯誤したこと、パクさんの絵の描き方、韓国における太鼓のイメージ、会場からの質問への回答などが行われた。



*右から広松由希子さん、申明浩さん、パク ジョンチェさん、ソユナさん(通訳)



*ワークショップの様子

講演会の翌日には子ども向け絵本づくりワークショップが開催され、絵本学会会員も見学、サポートした。

※ この講演会および次の日に行われた子ども向け絵本づくりワークショップ(講師：パク ジョンチェ)の報告集が後日発行される予定です(発行：大阪国際児童文学振興財団)。

2019年度 研究助成審査 結果報告

協議の結果、下記の3件を採択しました。

◇ 個人研究・調査

1. 研究テーマ：「SDGs*絵本」の収集と考察、および、同テーマの学びにおける絵本活用への提案」

*Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」

申請者：前田 君江(東京大学教養学部 非常勤講師)

2. 研究テーマ：「中華人民共和国における絵本・児童書の出版状況の研究、及び、絵本の出版」

申請者：後藤 仁(日本児童出版美術家連盟 理事、日本美術家連盟、東京芸術大学デザイン科 非常勤講師)

◇ プロジェクト研究・調査

3. 研究テーマ：「小学校英語教育に用いる主体的・対話的で深い学びの視点で選ぶ英語絵本の選定と考察」

申請者：松本 由美(玉川大学教育学部教育学科 准教授)

共同研究者：長澤 麻理(富士川町民図書館 図書館司書)

若林 みずほ(北海道士別市立士別南小学校 教諭)

企画委員会からのお知らせ

絵本フォーラム2019

「『ぼくのたび』ができるまで

絵本作家 みやこしあきこ・絵本編集者 沖本敦子」

2020年冬、京都で絵本フォーラム2019「『ぼくのたび』ができるまで 絵本作家 みやこしあきこ・絵本編集者 沖本敦子」を開催します。

みやこしあきこさんが絵本作家になるまでの歩み、絵本とその制作について語ります。聞き手は、編集者の沖本敦子さんです。みやこしあきさんが武蔵野美術大学在学中に制作した未発表の絵本『もうすこしとおく』や『ぼくのたび』の制作風景を記録した映像など貴重な資料の公開やサイン会も予定しています。

ゲスト：みやこしあきこさん、沖本敦子さん(聞き手)

開催日：2020年2月8日(土) 14:00～16:00頃

主 催：絵本学会

場 所：京都女子大学(京都市東山区)

定 員：80名

参加費：1,000円(学生は学生証提示で無料)

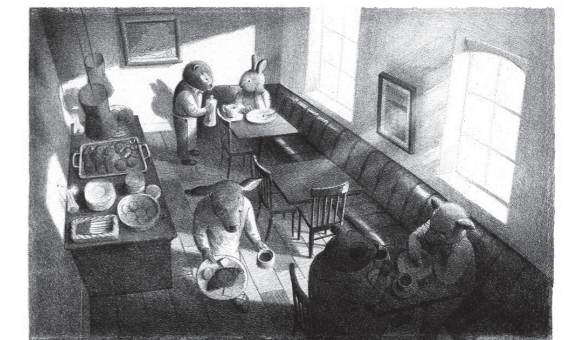
申し込み方法：件名に「絵本フォーラム2019申し込み」、本文に、

①氏名②電話番号③会員の方は会員と、学生の方は学校名と学年を記入の上、ehon-forum@seipy.comへお申し込みください。

問い合わせ：絵本学会 企画委員会 ehon-forum@seipy.com



絵本フォーラム2019 チラシ



『ぼくのたび』みやこしあきこ作、ブロンズ新社、2018、pp.4-5

絵本学会 Who's who

生田 美秋 — 絵本学会と共に歩んだ人

紹介：藤本 朝巳 (絵本学会 理事)

生田さんは理事として、現在、日本絵本研究賞特別委員会委員長、「絵本学会 NEWS」の編集委員をご担当されています。また、本年度は絵本学会大会の担当理事として大会運営に関わられました。いつも、生田さんの誠実な仕事ぶりを頭の下がる思いで、拝見しています。

絵本との出会い—世田谷文学館

絵本に関わるようになったのは、世田谷文学館で絵本展を担当することになってからです。東京新聞、教育出版を経て平成6年に世田谷文学館に勤務されることになり、23年間、学芸部に所属し、学芸部長で定年を迎えられました。

世田谷文学館では10数年も夏の絵本展を担当されました。その間に、中川李枝子、いわむらかずお、谷内こうた、林明子、五味太郎、堀内誠一、谷川俊太郎、村上康成、佐野洋子、フェリックス・ホフマン、荒井良二などの他、昔話絵本展、「日本絵本賞」受賞作品展、「こどものとも」傑作展などを担当されました。

絵本との出会いは、大学時代にご友人の下宿で偶然手にした谷内こうたの『のらいぬ』『なつのあさ』だったそうです。その念願の「谷内こうた展」のため、フランスのルーアンに谷内氏をお訪ねし、約一週間パリに滞在、毎日、各地の美術館を案内いただき、絵本のお話を聞くことが、絵本への興味となったようです。そして、絵本作家、画家、絵本研究者のお宅やアトリエにお伺いし、原画や資料を直に拝見しながらお話を聞く機会が多くなり、絵本学会に入会、大会で研究発表に参加し、多くの研究者と話す機会も増え、絵本研究にも興味を持つようになったといわれています。

文学館管理職となってからは、学芸部長として企画展の企画立案と統括、教育普及事業、資料の収集保管など博物館事業全般の管理・運営を主に行うようになりました。

現在は、富山県立高志(こし)の国文学館の事業部長として、主に企画展の企画立案と事業の統括を担当しておられます。

これまでの絵本学会との関わり

学会の企画委員会委員として「絵本フォーラム」を行うようになってから、初代の委員長の香曾我部秀幸氏が、東京で絵本フォーラムの会場を探していると、生田氏のところに相談にこられたのが、絵本学会と関わる最初だったそうです。「絵本フォーラム」を香曾我部委員長ほか、企画委員の岩崎真理子、川西芙沙、灰島かり氏らと世田谷文学館を会場に約10年間開催されました。絵本学会設立の呼びかけ人の一人、太田大八氏の「絵本学会はフォーラムでありたい」という想いを大切にしたいといつも思ってきたそうです。

その後、機関誌編集委員長として『絵本 BOOKEND』の編集を丸尾美保、加持ゆか、鈴木穂波、浅木尚実、申明浩、永井雅子、神谷友、藤本朝巳氏らと通算で9巻担当されました。生田氏のご尽力で、現在の『絵本 BOOKEND』の構成と編集体制が出来上がりました。絵本学会

設立20周年には、大胆な誌面のリニューアルを行い、村上康成デザインによる現在の判型、スタイルに改められました。

絵本学会の運営委員、理事として会長の吉田新一、太田大八、今井良朗、中川素子、佐々木宏子、三宅興子、松本猛、澤田精一氏のご指導のもとに仕事をされ、すべての会長のもとで運営委員、理事を経験されました。

主な著書

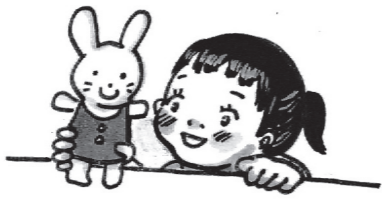
絵本研究の成果は、藤本朝巳、石井光恵氏との共編著『ベーシック絵本入門』、藤本氏との共編著『絵を読み解く 絵本入門』として絵本学会会員の執筆協力によって刊行されました。中川素子氏編集の『絵本の事典』、松本猛氏に声をかけていただき『絵本と社会』にも執筆されました。各著書は、学会会員の方々にも親しまれています。

生田氏は、残された時間を絵本と絵本研究の発展のために、特にこれから絵本を研究しようとする若い人たちのために何ができるかを日々考えながら、現在、絵本の基本用語、絵本学の理論の再検討を始められています。

さらに、保育者を育てるために保育者養成学校での児童文化の授業、絵本ボランティアのための絵本専門士講座の講師も誠実に続けておられます。

氏は、日本絵本研究賞の見直しに道筋をつけることが、絵本学会と共に歩んできた自分の最期の仕事にしたいとおっしゃっています。

以上、生田氏の、絵本学会へのご奉仕を中心に書かせていただきました。



イラスト：井之口真央

新入会員の自己紹介コーナー

赤須 薫

(注)日本朗読検定協会の朗読講師をしています。絵本の魅力に惹かれ読み聞かせボランティアを続ける中、優れたテキストとイラストレーションで表現された絵本の魅力を聞き手の心に届けるためには、深い作品解釈と共に語り方にも独自の技術の研鑽が必要なのではないかと感じて参りました。積極的に朗読の技術を取り入れつつ、文章のみの朗読には無い、絵を見せ、ページをめくる等の絵本の特質も考慮した読み聞かせ独自の方法論が個人の経験からもっと普及可能な形にまとまり、それを必要とする多くの人に伝わる事を願い模索しています。

絵本が子供たちにとって初めて出会う文学であり絵画芸術であるのと同時に、その読み聞かせが初めて出会う朗読芸術であればと願っております。また大人の鑑賞にも十分に耐え得るパフォーマンスとしての絵本の読み聞かせの広がりにも夢を抱いております。

皆様どうぞよろしくお願い致します。

有木 永子

この度、入会させて頂きました有木永子と申します。臨床心理学を専門として大学で教えながら、臨床心理士・公認心理師として臨床活動にも従事しています。普段、大学では授業の中で絵本をとおして学ぶ機会を作っていますが、絵本が理解を深めてくれることを実感しています。そして、心理療法や心理支援の場においても同様の手応えを感じています。

個人的には、「絵」を読み「絵」を感じながら、自分の物語と絵本の物語が交わる時、何かがストンと落ちる体験に注目しています。そんな時、絵本学会を偶然に知りました。いろんな人が入会できて、交流できる点に魅力を感じます。まだ見ぬたくさんの絵本に出会えること、多様な角度から絵本と関われることに期待が高まっています。同じ絵本でも捉える視点や受け取るメッセージで、違った味わい方があると思うので、そうした味わいをぜひ共有させて頂けると嬉しいです。どうぞよろしくお願い致します。

内本 久美

はじめまして。大阪府羽曳野市にある四天王寺大学短期大学部保育科で、専任講師をしている内本久美といいます。担当は、子どもの造形活動です。

羽曳野市は、大阪の都心からほど近いところにあり、梅やブドウ、エンドウの栽培が盛んです。丘の斜面には、たくさんのビニールハウスが並んでいます。小さくて丸いものばかりと思われそうですが、今回ドーンと大きなものが、有名になりました。古墳です。市内には大小45基の古墳が現存し、堺市、藤井寺市と合わせ「百舌鳥・古市古墳群」として世界文化遺産に登録されました。ぜひ、見学にいらしてください。

さて、私は大学に入る前、幼稚園で造形の講師をしていました。描いたり、作ったりする遊び中心の内容で、絵本を取り入れた活動もしていました。しかし日々進化する絵本の世界。学会でもっと造詣を深め、保育科の学生に絵本の素晴らしさを伝えたいと思います。よろしくお願い致します。

Michelle Abdo Kanaan

After graduating from the Lebanese university, I decided to

extend my knowledge in the field of Illustration, and work on sharpening my skills in the Art of Visual Story Telling.

I applied for a scholarship to Japan, and after two years of being a research student, I started my Masters degree in Nihon University where I was able to immerse myself in the art of Picture Books.

Those two years of Masters were a great period of growth for me. And I was able to challenge myself by putting to use all that I have learnt and create a book of my own.

I kept one goal in mind, that I would only tell real stories that highlight issues in our world. More specifically, I wanted to talk about children who are deprived form their rights. The physical and emotional security, nutrition, education and other rights.

I have come to understand that the right picture book can play a crucial role in bringing awareness to the readers about the issues that the world is suffering from. And can inspire not only children, but adults as well, to be part of finding solutions to those problems.

For my Masters' project I decided to create a picture book about the water crisis that many countries suffer from. I wanted to tell the story of millions of children around the world, who have to wake up every day before sunrise, to go on a five miles journey in the heat in order to fetch water. And even if they manage to find water, it is usually polluted and is in consequence is the biggest cause of death of children under the age of five.

The reason why I had chosen to talk about the issue of water is because I think it is the most fundamental one. Without water, there is no nutrition, no food, no health and no life. Furthermore, the Water Issue is at the basis of other issues as well. Children are exposed to various dangers through their daily walks to remote places, and the time that they put on the road, is the time taken away from them being in school. In other words, children grow up deprived form their right of acquiring an education.

My concept for that picture book was to tell a story without the use of words. For I was inspired by the difficulty of the language barrier that I had experienced when I came to Japan. I thought that it would be important for me to create a book that would communicate to children and adults from all over the world. There are more than fifty languages on the planet, but there is one language we all share, and that is Art.

And creating a wordless picture book also makes the reading experience very personal to the reader. There are no words that will tell you what the character is feeling or thinking. You are left to use your sensitivity and your power to analyze in order to depict what is happening on the page.

After I graduated I found that I had in me the motivation to create more books that touch upon other important issues. I want to create more stories and try various other visual expressions.

In order to find my own style, or what some illustrators like to call "my Voice" in visual storytelling, I will have to study the great picture book creators and find what makes their creations a world-wide success.

Anthony Browne, Shaun Tan, Wolf Erlbruch, Anno Mitsumasa, Oliver Jeffers... those are some of the creators who in many ways have broken the traditional ways of Picture Books Creation. Their expressions are bold and highly effective. My goal is to study the great works of those artists from around the world, who's masterpieces fit into that category in children's literature, known in certain countries as the "Sophisticated Picture Books" category. A category in which one finds books that tell important, real stories about our world through a bold and honest language. Whether it's Death, loss, war or violence, there are story tellers who do not fear telling the truth about the hardships of the human life. And these are the artists that treat the young reader, not as an innocent child but as an adult. My goal is to learn how to tell complex stories in an honest, yet sensitive and effective way, that would leave an effect on the reader long after they will have turned the last page.

倉原 弘子

はじめまして。この度、ご縁あって絵本学会をご紹介いただき、入会させていただきました。中村学園大学の倉原と申します。

大学では、「造形」や「保育内容表現造形」を担当しながら、木工芸作品も制作しております。現在、年長児の子どもを育てており、うちの子が2歳の頃にtupera tuperaさんの『しろくまのパンツ』を自分で拙い言葉でありながら声に出して読んでいる姿を映像で記録しているのですが、それを見るたびに温かな柔らかな気持ちになることができます。子どもと絵本と私の時間は、子育ての中でも特別で素敵な思い出です。

幼児の造形表現活動を考える際、絵本がきっかけとなって始まる表現があります。本学会でたくさん絵本に出会い、人に出会い、学びながら楽しく参加させて頂けることを楽しみにしております。どうぞよろしく願いいたします。

関 純奈

初めまして。梅花女子大学大学院文学研究科児童文学専攻の関 純奈と申します。私は、名古屋市の児童書専門店メルヘンハウスで4年間働いていました。昨年の閉店を契機に、「大好きな絵本のことをもっと学びたい」と大学院に進学し、このたび絵本学会に入会することとなりました。

私は現在、『はじめてのおつかい』(福音館書店)などで人気の絵本作家、林明子さんの絵本表現の研究に取り組んでいます。先日は、林明子さんのご自宅でご本人にインタビューすることもできました。子どもの頃からの憧れの作家にお会いしてお話をお聞きしたことは、私の一生の宝物になりました。

大学院では、知識と個性に溢れる先生方、研究熱心で頼れる先輩や仲間たちに囲まれて、日々多くの刺激を受けながら学んでいます。絵本学会に入会したことで、さらに多面的に絵本を捉えられるようになりたいです。まだまだ若輩者ですが、絵本学会の皆様、ご指導のほどよろしく願います。

仲嶋 貴将

皆さん、はじめまして。仲嶋貴将と書いて「なかじまよしゆき」と申します。これから皆さんの仲間に加えていただけるということで私にとっての学びの窓が広がり非常に嬉しく思っております。

現在札幌の複数の大学で教壇に立っています。専門は芸術学全般、領域「表現」、美術論、彫刻などです。約50年前にマンロー・リーフ著『おっとあぶない』を読んで、その内容は勿論のことながら挿絵の少し奇妙なデッサンの数々に興味を持ったのが絵本を強く意識し、同時に衝撃を受けた源泉のように思います。後に『もじゃもじゃペーター』と出会い、絵本の源を探るうちにすっかりその魅力にからめとられたようです。

今は学生たちと絵本のレリーフ化も試みています。皆さんこれからどうぞ宜しくお願い致します。



学生と製作した『ぐりとぐら』のレリーフ

西 隆太郎

保育園を訪れると子どもたちは私を歓迎してくれて、手に手に絵本を取り、「読んで!」とやって来てくれます。おもしろい言葉を一緒に繰

り返したり、登場動物を真剣に演じたり、そんな姿に接していると、絵本の本当の楽しみ方は子どもたちの方が教えてくれるのではないか——そう思えてきます。

ともに新しいページをめくる中で、その子の思いに触れて、また私自身のことも振り返りながら、多くのことを学んでいます。村中李衣先生と共同の「長期入院児のための絵本の読みあい」では、日本絵本研究賞と励ましのコメントをいただきました。子どもの世界、イメージの世界への探究を、これからも深めていきたいと思います。

岡山にあるノートルダム清心女子大学で、保育と心理臨床を担当しています。『子どもと出会う保育学——思想と実践の融合をめざして』(ミネルヴァ書房)では、絵本や物語に関する事例研究を行いました。

久田 有香

はじめまして。久田有香と申します。

小学校の図書ボランティアで、絵本の読み聞かせや昔話のストーリーテリングをしている者でございます。元々は、学生(学部・大学院)時代、近代日本文学の研究をしており、その後、高校の国語科教師をしておりましたが、結婚・出産を機に退職し、子どもの小学校入学以来、図書ボランティアとして現在活動しております。

図書ボランティアの活動も、今年で8年目に入り、最近、新しいボランティア仲間や若いお母さん方に、図書室でのお仕事や読み聞かせ方法、絵本の選書について指南させていただくような機会が増えて参りました。そこで、自分自身もっと絵本に対する専門的な知識・理解を深めたいと考え、入会させていただきました。

先達の皆様の、さまざまな角度からの絵本への取り組み、研究を勉強させていただきたいと存じます。これからどうぞよろしくお願いいたします。

水倉 新六

「絵本学会」の空間に産まれた、表現者たちの多様な位相を観たときに、私の暮らし方にも、多様な表現を入れたい!と願い、入会しました。平たく云うと、学会の影響を受けて、『会員楽(?)』を享受したいと夢見たわけです。求めの端緒はあくまでも、設立ご趣旨の読み下しに始まっています。譬えて読めば、色彩の響き合いが表現になった「画」の事と、文字群の響き合いが表現になった「詩文」の事とが、造本の坩堝(編集システム)の中で、干渉し合って同期し、ついには「絵本」の事となって表現体を産んでいます。赤子を育てる感動の位相です。どうぞ、よろしくお導きください。

劉 暢

研究内容：大学の絵本創作教育

2013年中国の中央美術学院を修了しました。中国の大学で講師をしながら、絵本創作も続けています。2017年、日本の絵本の作品と研究に関心を持ち、日本へ留学に来ました。今は日本大学芸術学部研究科大学院博士課程一年生で、研究内容は大学で絵本創作教育に関する方法論です。

出版経験：

2013年 絵本『北溟有魚』 中国と台湾 明天出版社

2016年 絵本『門獣』 中国と台湾 明天出版社

2017年 絵本『生命』『逐人氏』 中国 明天出版社

絵本学会理事会報告

◎2019年度第1回絵本学会理事会 議事録

日 時：2019年6月1日(日)10:30～11:30
会 場：帝京大学 S513(ソラティオスクエア内)
出 席：澤田精一(会長) 松本育子(事務局長) 生田美秋
今田由香 甲木善久 長野麻子 藤本朝巳 丸尾美保
甲斐聖子(事務局補助)
委 任：鈴木穂波 佐々木由美子

◆報告事項

- 会長より
澤田会長より第1回理事会にあたり挨拶がなされた。
- 前回2018年度第5回絵本学会理事会議事録および臨時理事会議事録の確認
資料に基づき、2018年度第5回絵本学会理事会議事録および臨時理事会議事録の確認がなされ、承認された。
- 各委員会報告
 - 企画委員会
特になし。
 - 紀要編集委員会
特になし。
 - 機関誌編集委員会
藤本理事(委員長)より、『絵本 BOOKEND 2019』の編集作業を進めており、8月発行に向けて準備している旨報告がなされた。
 - 研究委員会
丸尾理事(委員長)より、資料に基づいて報告がなされた。
 - 絵本研究助成については、今年度も3件各5万円を助成する予定である。締め切りは、6月30日の消印有効。審査結果の通知は7月末まで。
 - 2019年度の絵本セミナーは、大阪国際児童文学振興財団との共催での講演会を実施する予定。
タイトル：国際講演会
韓国の絵本作家 パク ジョンチェの絵本を語る
日 時：2019年7月20日(土) 13:00～16:00
場 所：大阪府立中央図書館 大会議室
定 員：60名 参加費：1,000円
 - 広報委員会
特になし。
 - 特別委員会
特になし。
- 事務局より
特になし。
- 「フォーラム・子どもたちの未来のために」について
澤田会長より、次回は、7月13日(土)にひと・まち交流館京都(京都市)でシンポジウムIN京都「私たちの時代・私たちの表現ーいま、子どもたちに何を伝えるかー」を開催予定である旨が報告された。
- その他
特になし。

◆審議事項

- 入退会者の承認(敬称略)(2019年3月3日～5月31日)
以下の新入退会者が承認された。

・入会者：矢阪亜希子	徳永加代	博多哲也	大久保桃子
大貫真寿美	三林真弓	安田とも子	近藤聖子
塚本敏浩	杉本孝美	稲田八穂	内本久美
小柳妙子	水倉新六	竹内識晃	細恵子
村上彰子	前田敬子	宇恵明日美	田崎栄子
小村三千代	(払込日順)	計21名	

・退会者：あわやまり	矢木佳代子	谷口広樹	増原真緒
中川淳	千森幹子	田中洋江	伊藤道明
(退会日順)	計8名		

・除籍者：相浦雅子	大角洋子	大丸秀士	高野弘子
武内佳代	東谷博美	日高直人	福田きよみ
福田浩久	計9名		

・賛助会員【退会】：株式会社こぐま社
・賛助会員【除籍】：日本児童教育専門学校、世界の童話図書館
- 事務局より
 - 後援依頼があり、以下4件の事業後援を行うこととなった。
 - ①「ショーン・タンの世界展 どこでもないどこかへ」
ちひろ美術館・東京(2019年5月11日～2019年7月28日)
 - ②「日本イギリス児童文学会 第49回研究大会における三学会連携シンポジウム」
 - ③「第36回 日産 童話と絵本のグランプリ」
一般社団法人大阪国際児童文学振興財団
 - ④「ちひろさんの子どもたち 谷川俊太郎×トラフ建築設計事務所」
ちひろ美術館・東京(2019年8月2日～2019年10月27日)
 - 後援した以下の団体から活動報告がなされた。
 - ①「第35回 日産 童話と絵本のグランプリ」
一般社団法人大阪国際児童文学振興財団
 - 第22回絵本学会大会について
大会実行委員長である辻氏より、大会参加者数および総会委任状数の報告があり、大会開催概要の確認とともに承認された。
 - 各委員会より
 - ①企画委員会
特になし。
 - ②紀要編集委員会
特になし。
 - ③機関誌編集委員会
特になし。
 - ④研究委員会
特になし。
 - ⑤広報委員会
特になし。
 - ⑥特別委員会
特になし。
 - 日本学術会議協力学術研究団体への登録について
登録に向けて引き続き調査中の旨、藤本理事より報告があり継続審議となった。
 - 第23回絵本学会大会(2020年度)について
熊本県阿蘇郡高森町で、6月6日(土)・7日(日)に開催予定
講 師：柳田 邦男氏

総会の最後に、開催概要について報告することとなった。

7 その他

- ・絵本学会第22回総会次第について審議され、承認された。
- ・次回理事会日程について
第1候補：9月29日(日)、第2候補：9月22日(日)となったが、欠席理事に確認し、大会開催中に9月29日に決定した。

■お詫びと訂正

前号NEWS64号「絵本学会 Who's who」で藤本朝巳理事を「副会長」とご紹介しましたが、正しくは「副会長」ではなく、「会長代理」でした。お詫びして訂正いたします。



イラスト：山田百合

編集後記

・今号では来年度の絵本学会大会のお知らせを掲載しています。早いもので、新体制になって2度目の冬を迎えたこととなります。今後も情報の提供だけでなく、会員同士の交流の場となるようなNEWSをめざしていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

(佐々木由美子)

・「新入会員紹介」を読ませていただき、その意気込みに感激すると共に、絵本学会への期待に応えていかなければという思いを強くしています。どうかそのいまの気持ちを大切に絵本フォーラム、絵本セミナー、絵本学会大会にご参加ください。特に絵本学会大会は多くの示唆、刺激を得ることができ、人間関係の輪を広げてくれます。新しい手帳に6月6日、7日、絵本学会大会参加と記入しておいてください。

(生田美秋)

・今号も新たな会員の方々に自己紹介原稿をお送りいただきました。ご執筆下さいました皆様ありがとうございます。

(甲木善久)

・このたびの災害により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

謹んでお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧そして心穏やかに絵本と過ごす時が訪れることをお祈り申し上げます。

(宮崎詞美)



イラスト：井之口真央